

患者ID: @PATIENTID

患者氏名: @PATIENTNAME

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(m ²)
HEIGHT01_Do	WEIGHT01_Do	#VALUE!

投与スケジュール: 1コース 28日

予定クール数: 高リスク群2クール(IVACと交互に) ・ 低リスク群3クール(IVACはなし)

使用薬剤: シクロホスファミド (GPA): シクロホスファミド注 100mg/V、500mg/V
 ビンクリスチン (VCR): ビンクリスチン注 1mg/V
 ドキソルビシン (ADM): ドキソルビシン塩酸塩注射用 10mg/V、50mg/V
 プレドニゾロン (PSL): 20mg/A、10mg/A、プレドニン錠 5mg
 メトトレキサート (MTX): メトトレキサート注 200mg/V、50mg/V、5mg/V
 シタラビン (Ara-C): シタラビンN 400mg/20mL/A、1g/50mL/A
 ホリナートカルシウム (LV): ロイコボリン注3mg/A、ロイコボリン錠5mg

使用基準: 肝障害、腎障害 (Ccr: 50ml/min<)、胸水、腹水のある患者には投与禁忌
 次のコース開始時、Neut: 1,000/μL・Plt: 75,000/μL以上に回復していることを確認。

注意: HbC抗体測定し、陽性ならTaqMan HBV検査までおこなうこと
 ビンクリスチン 最大投与量; 2mg/bodyを越えないこと
 プレドニン B型肝炎; 核酸アナログ製剤を併用、糖尿病; 減量もしくは中止
 日和見感染症に注意。高尿酸血症、胃潰瘍、口内炎、便秘の予防について考慮すること
 66歳以上の症例はMTX1回投与量を1000mg/m²/dayに減量。

指示: 点滴開始後、尿pH7.0以上、時間尿量100mL以上、1日尿量2000mL以上が目標
 尿量測定; 毎日 体重測定; 毎日起床時
 検尿にてpH6.5以下の時、炭酸水素Na7%20mL静注
 利尿剤はダクタリス静注用250mg (0.5A) (2回/日まで) 使用。 **ゾレミド原則使用不可。**
 day13よりG-CSFをNeut1,000/μL以上に回復するまで使用。

投与量:

薬剤	標準投与量	計算値	投与量(mg)	投与日
シクロホスファミド	800 mg/m ²	#VALUE!		1
シクロホスファミド	200 mg/m ²	#VALUE!		2~5
ビンクリスチン	1.5 mg/m ²	#VALUE!		1, 8
ドキソルビシン	40 mg/m ²	#VALUE!		1
メトトレキサート注	300 mg/m ²	#VALUE!		10
メトトレキサート注	2700 mg/m ²	#VALUE!		10
シタラビン	70 mg/body		70	1, 3
メトトレキサート注	12 mg/body		12	15
プレドニン	20 mg/body		20	1, 3, 15

薬剤	投与量	投与方法
ロイコボリン注3mg	5A/回	静脈注射
ロイコボリン錠5mg	3T/回	含嗽・内服

MTX投与後36時間後より3時間間隔で5回、以後6時間間隔で5回 (36, 39, 42, 45, 48, 54, 60, 66, 72, 78時間後の計10回)

<< タイムスケジュール: 開始時刻 >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

内服 ロイコボリン注と同スケジュールでロイコボリン錠5mg3Tを水100mLに溶解し、出来上がったロイコボリン溶解液で含嗽後、口に含んだまま内服する。

注射 下記のタイムスケジュールで行う

day1	時刻	内容
	1月1日 (金)	
	0時00分	内服 アプレピタントカプセル125mg ドキソルビシン開始1時間前頃
	0時45分	① 生理食塩液 50mL + アロキシ1V + デキサート 9.9mg 15分で点滴静注
	1時00分	② 生理食塩液 50mL + ドキソルビシン注 0mg 全開 (10分以内) で点滴静注
	1時10分	③ 生理食塩液 50mL + ビンクリスチン注 0.00mg 全開 (5分以内) で点滴静注
	1時15分	④ 生理食塩液 50mL 5分で点滴投与 (全開)
	1時20分	⑤ 生理食塩液 250mL + シクロホスファミド注 0mg 2時間で点滴静注
	3時20分	⑥ 生理食塩液 50mL フラッシュ
		⑦ シタラビン 70mg + プレドニン 20mg 医師により髄注を施行する。 シタラビン注にプレドニン注を溶解する

day2	1月2日	(土)	~ day5	1月5日	(火)	
	起床後	内服	アプレピタントカプセル 80mg 1×(2) 起床後			
	0時00分	①	生理食塩液 50mL	+	デキサート 6.6mg	
			15分で点滴静注			
	0時15分	②	生理食塩液 250mL	+	シロキサミド注	0mg
			2時間で点滴静注			
	2時15分	③	生理食塩液 50mL			
			フラッシュ			
	day3のみ施行	④	シタラビン 70mg	+	プレドニン 20mg	
			医師により髄注を施行する。 シタラビン注にプレドニン注を溶解する			
day8	1月8日	(金)				
	0時00分	①	生理食塩液 50mL			
			15分で点滴静注			
	0時15分	②	生理食塩液 50mL	+	ピンクリスチン注	0.00mg
			全開(5分以内)で点滴静注			
	0時20分	③	生理食塩液 50mL			
			フラッシュ			
day9	1月9日	(土)				
	14時00分	①	アクチット 500mL	+	炭酸水素Na7% 20mL 2A	
			4時間で点滴静注			
	18時00分	②	アクチット 500mL	+	炭酸水素Na7% 20mL 2A	
			4時間で点滴静注			
	22時00分	③	アクチット 500mL	+	炭酸水素Na7% 20mL 2A	
			4時間で点滴静注			
day10	1月10日	(日)				
	2時00分	①	アクチット 500mL	+	炭酸水素Na7% 20mL 2A	
			4時間で点滴静注			
	6時00分	②	アクチット 500mL	+	炭酸水素Na7% 20mL 2A	
			4時間で点滴静注			
	9時30分	③	生理食塩液 50mL	+	グラニセトロン 1A + デキサート 6.6mg	
			15分で点滴静注			
	9時45分	④	生理食塩液 250mL	+	メソトレキセート	0mg
			1時間で点滴静注			mL
	10時00分	⑤	アクチット 500mL	+	炭酸水素Na7% 20mL 2A	
			4時間で点滴静注			
	10時45分	⑥	生理食塩液 250mL	+	メソトレキセート	0mg
			23時間で点滴静注			mL
	14時00分	⑦	アクチット 500mL	+	炭酸水素Na7% 20mL 2A	
			4時間で点滴静注			
	18時00分	⑧	アクチット 500mL	+	炭酸水素Na7% 20mL 2A	
			4時間で点滴静注			
	22時00分	⑨	アクチット 500mL	+	炭酸水素Na7% 20mL 2A	
			4時間で点滴静注			
day11	1月11日	(月)				
	2時00分	①	アクチット 500mL	+	炭酸水素Na7% 20mL 2A	
			4時間で点滴静注			
	6時00分	②	アクチット 500mL	+	炭酸水素Na7% 20mL 2A	
			4時間で点滴静注			
	10時00分	③	アクチット 500mL	+	炭酸水素Na7% 20mL 2A	
			4時間で点滴静注			
	14時00分	④	アクチット 500mL	+	炭酸水素Na7% 20mL 2A	
			4時間で点滴静注			
	18時00分	⑤	アクチット 500mL	+	炭酸水素Na7% 20mL 2A	
			4時間で点滴静注			
	22時45分	⑥	生理食塩液 100mL	+	ロイコボリン 5A	(1回目 ; 36時間後)
			30分で点滴静注			
	22時00分	⑦	アクチット 500mL	+	炭酸水素Na7% 20mL 2A	
			4時間で点滴静注			

day12	1月12日	(火)		
	1時45分	①	生理食塩液 100mL +ロイコボリン 5A 30分で点滴静注	(2回目 ; 39時間後)
	2時00分	②	アクチット 500mL + 炭酸水素Na7% 20mL 2A 4時間で点滴静注	
	4時45分	③	生理食塩液 100mL +ロイコボリン 5A 30分で点滴静注	(3回目 ; 42時間後)
	6時00分	④	アクチット 500mL + 炭酸水素Na7% 20mL 2A 4時間で点滴静注	
	7時45分	⑤	生理食塩液 100mL +ロイコボリン 5A 30分で点滴静注	(4回目 ; 45時間後)
	10時00分	⑥	アクチット 500mL + 炭酸水素Na7% 20mL 2A 4時間で点滴静注	
	10時45分	⑦	生理食塩液 100mL +ロイコボリン 5A 30分で点滴静注	(5回目 ; 48時間後)
	14時00分	⑧	アクチット 500mL + 炭酸水素Na7% 20mL 2A 4時間で点滴静注	
	16時45分	⑨	生理食塩液 100mL +ロイコボリン 5A 30分で点滴静注	(6回目 ; 54時間後)
	18時00分	⑩	アクチット 500mL + 炭酸水素Na7% 20mL 2A 4時間で点滴静注	
	22時00分	⑪	アクチット 500mL + 炭酸水素Na7% 20mL 2A 4時間で点滴静注	
	22時45分	⑫	生理食塩液 100mL +ロイコボリン 5A 30分で点滴静注	(7回目 ; 60時間後)

day13	1月13日	(水)		
	2時00分	①	アクチット 500mL + 炭酸水素Na7% 20mL 2A 4時間で点滴静注	
	4時45分	②	生理食塩液 100mL +ロイコボリン 5A 30分で点滴静注	(8回目 ; 66時間後)
	6時00分	③	アクチット 500mL + 炭酸水素Na7% 20mL 2A 4時間で点滴静注	
	10時00分	④	アクチット 500mL + 炭酸水素Na7% 20mL 2A 4時間で点滴静注	
	10時45分	⑤	生理食塩液 100mL +ロイコボリン 5A 30分で点滴静注	(9回目 ; 72時間後)
	14時00分	⑥	アクチット 500mL + 炭酸水素Na7% 20mL 2A 4時間で点滴静注	
	16時45分	⑦	生理食塩液 100mL +ロイコボリン 5A 30分で点滴静注	(10回目 ; 78時間後)

day15	1月15日	(金)		
	9時45分			
	①	メソトレキセート注 12mg + プレドニン 20mg + 生理食塩液 2 mL		
		医師により髄注を施行する。		
		生食5mlをとり、メソトレキセート注5mgのハ イルに溶解し2mlをとる。その溶解液2mlに残りのメソトレキセート注、プレドニン注を溶解する。		

day16	1月16日	(土)		
	9時45分			
		含嗽・内服	ロイコボリン錠5mg3T	1 x (1)
			MTX髄腔内投与の24時間後にロイコボリン錠を内服する。	

REFERENCE

Graham M. Mead, Sharon L. Barrans, Wendi Qian et al: blood 2008 112:2248-2260
A prospective clinicopathologic study of dose-modified CODOX-M/IVAC in patients with sporadic Burkitt lymphoma defined using cytogenetic and immunophenotypic criteria (MRC/NCRI LY 10 trial)
2014年7月度化学療法プロトコール審査委員会承認 : 2014年7月14日